

2025年3月期第1四半期

決算補足説明資料

福山通運株式会社

(東証プライム市場 9075)

2024年8月8日



1. 連結業績

(単位：百万円/%)	2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	増減額	前年同期比
売上高	71,685	73,734	2,048	102.9
営業費用	67,397	70,559	3,161	104.7
営業利益 (営業利益率)	4,288 (6.0)	3,175 (4.3)	△1,112	74.1
経常利益 (経常利益率)	5,077 (7.1)	4,382 (5.9)	△695	86.3
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,381	3,610	228	106.8

売上高

特積みの物量回復に加え、貸切件数の増加及び大口案件獲得などにより増収

営業利益

物量は増加したものの、2024年問題対応やドライバー不足対応のための外注費の増加により減益

経常利益

為替差益の増加により営業外損益は+417百万円

四半期純利益

運送事業におけるコスト増加による減益はあったものの、投資有価証券の売却により増益

2.セグメント別業績

(単位：百万円/%)	2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	増減額	前年同期比
売上高 合計	71,685	73,734	2,048	102.9
運送事業	56,337	57,557	1,219	102.2
貸切事業	5,717	6,109	392	106.9
流通加工事業	5,324	5,457	133	102.5
国際事業	2,655	2,844	188	107.1
その他事業	1,651	1,765	114	106.9

営業利益 合計 (利益率)	4,288 (6.0)	3,175 (4.3)	△1,112	74.1
運送事業	3,450 (6.1)	2,376 (4.1)	△1,074	68.9
貸切事業	512 (9.0)	557 (9.1)	44	108.7
流通加工事業	813 (15.3)	914 (16.8)	101	112.4
国際事業	141 (5.3)	99 (3.5)	△41	70.3
その他事業	301 (8.6)	260 (7.1)	△40	86.5
調整額	△930	△ 1,032	△101	—

運送事業

特積みは回復したものの（重量+2.1%、単価+0.7%）、2024年問題対応やドライバー不足対応のための外注費の増加に加え、委託単価の上昇もあり減益

貸切事業

取扱件数の増加や大口案件の獲得により、増収・増益

流通加工事業

新設倉庫の本格稼働に伴う取扱数量の増加や単価改定により増益

国際事業

新規連結による売上の増加はあったものの、海外におけるトラック輸送の取扱い減少により減益

その他事業

景況感の改善に伴い商品販売収入は増加したものの、減価償却費の増加などにより減益

3.分野別運送収入と運賃是正

運送収入

※2024年4～6月稼働日数：前年比100.0%

* 当社の荷物分類定義

小口貨物：1件1個30kg以下
商業小口：1件5個120kg以下

商業貨物：1件6個121kg以上
重厚長大：1個100kg以上または1件500kg以上

(単位：百万円/%)		2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	増減額	前年同期比
分野別 運賃	小口貨物	14,432	14,789	356	102.5
	商業小口	12,322	12,604	282	102.3
	商業貨物	11,394	11,690	295	102.6
	重厚長大	12,115	12,613	497	104.1
	計	50,264	51,695	1,431	102.8
その他の運賃		5,823	5,628	△195	96.6
その他運送事業収入		250	234	△15	93.7
計		56,337	57,557	1,219	102.2

輸送4要素

(前年同期比/単位：%)

	トンキロ単価	個当り単価	Kg当り単価	重量
小口貨物	100.3	101.3	100.6	101.8
商業小口	100.0	101.1	100.5	101.8
商業貨物	101.1	100.2	100.8	101.8
重厚長大	101.0	99.8	101.2	102.9
全体	100.5	100.8	100.7	102.1

4. 営業費用

(単位：百万円/%)	2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	増減額	前年同期比
営業費用 合計	67,397	70,559	3,161	104.7
人件費 合計	32,487	33,657	1,169	103.6
人件費	30,091	30,750	659	102.2
外注人件費	2,396	2,906	510	121.3
物件費 合計	23,816	24,981	1,164	104.9
燃料費	3,432	3,690	257	107.5
備車費	7,288	7,728	439	106.0
貸切備車費	4,010	4,387	376	109.4
その他	9,084	9,174	90	101.0
諸費 合計	7,655	8,143	487	106.4
取扱手数料	3,399	3,438	39	101.2
その他	4,256	4,705	448	110.5
減価償却費	3,437	3,776	339	109.9

人件費

ベア及び物量増に伴う給料手当の増加に加え、2024年問題の対応や労働環境改善における外注人員の増員及び委託単価の上昇により、外注人件費が増加

物件費

軽油単価が前年を上回り燃料費が増加、ドライバー不足対応による集配備車費、貸切案件増加に伴う貸切備車費がともに増加

諸費

管理コストの単価上昇や一過性コストの発生により増加

減価償却費

前年度からの車両更新台数の増加に伴い車両の減価償却費が増加

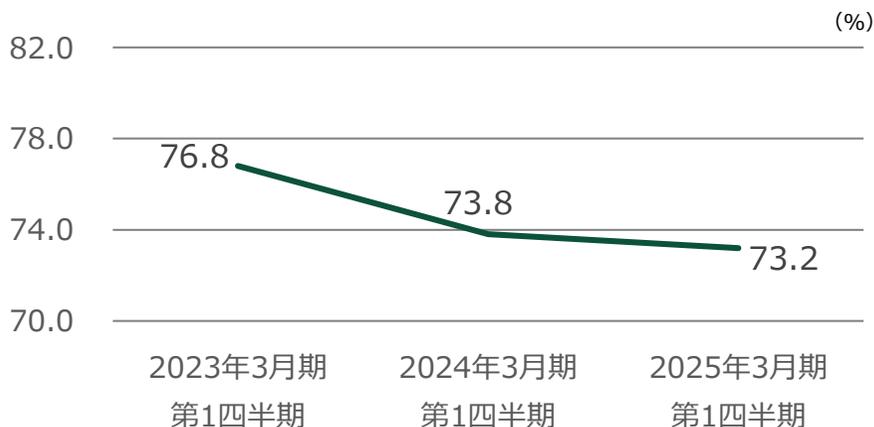
5. 輸送に係る主要コスト

主要コストの増減

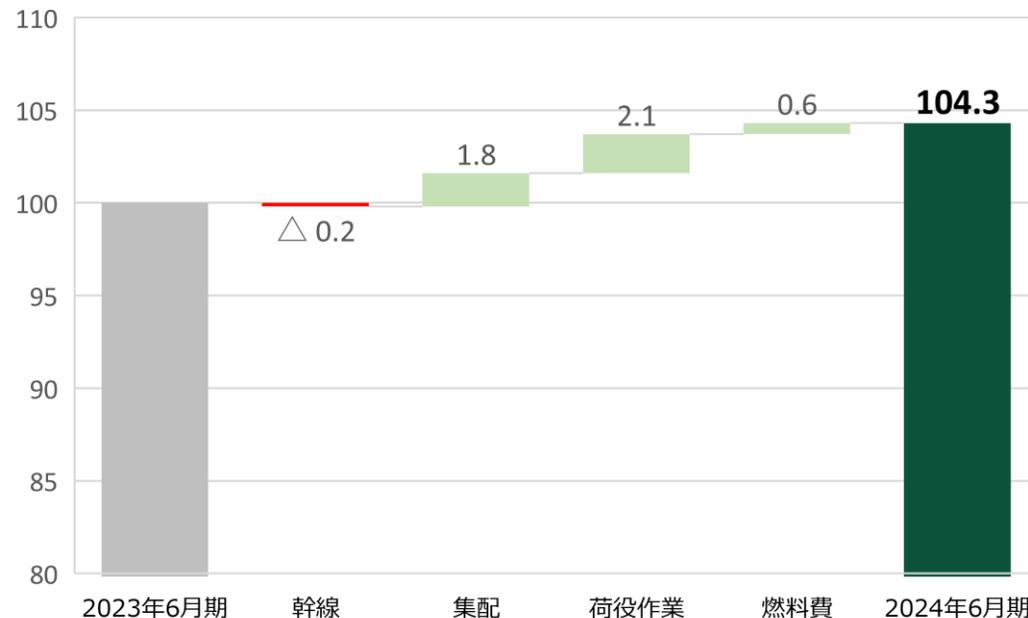
※対象コスト：各項目における従業員給料及び外注費
(フェリー輸送・鉄道輸送含む)

(単位：%)	発生額 前年同期比	重量あたり 前年同期比	構成比
幹線	101.3	99.2	29.1
集配	106.4	104.2	43.5
荷役作業	115.5	113.1	17.1
燃料費	108.2	106.0	10.3
合計	106.5	104.3	100.0

運行便積載率



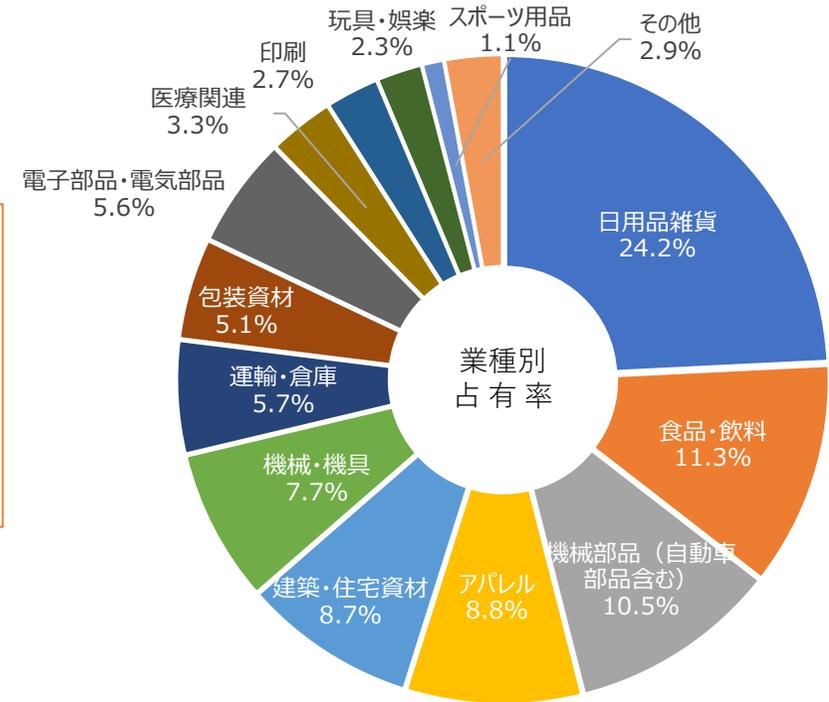
コスト上昇の内訳 (重量当たり)



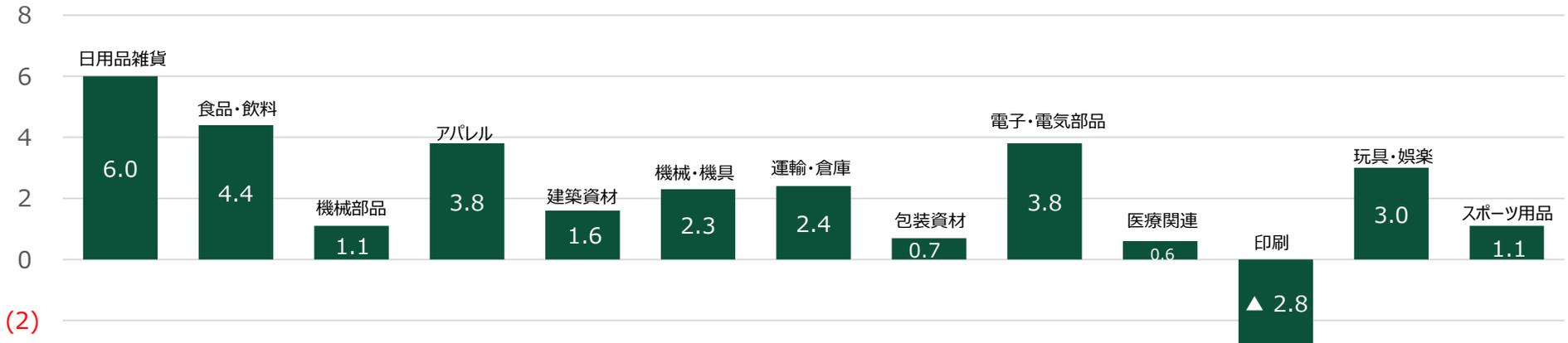
- 重量当たりの主要コストは4.3%増加
- すべての項目において人件費単価が上昇
- 幹線コストは輸送手段の変更などにより増加しているが、重量当たりコストは抑制
- 集配コストは輸送力確保のため外注費が増加
- 荷役作業コストは2024年問題対応の荷役分離などにより増加
- 取扱数量は増加したものの車両の大型化により積載効率は低下

6.業種別傾向

- 主力の日用品雑貨、食品・飲料やアパレルは、個人消費の増加により好調
- 建築資材、機械部品及び機械・機具は、住宅の高止まりや物価高の影響により伸び率が鈍化
- 包装資材や医療関連貨物は、新型コロナの流行が落ち着いたこともあり微増
- 電子・電気部品は、半導体市場の荷動きが活発化したことにより増加



業種別増減率 (2025年3月期第1四半期)



(2)

(4)

7.2025年3月期 連結業績予想

(単位：百万円/%)	2024年 3月期実績	2025年 3月期予想	前期比
売上高	287,563	301,300	104.8
営業利益 (営業利益率)	10,448 (3.6)	12,000 (4.0)	114.9
経常利益 (経常利益率)	12,973 (4.5)	13,500 (4.5)	104.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,834	11,300	144.2



本資料は、当社グループの財務情報、経営指標等の提供を目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。
内容については、細心の注意を払っておりますが、妥当性、正確性、有用性について保証するものではありません。
将来の業績に関する内容が一部含まれておりますが、こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、様々な要因によって変動する可能性があることにご留意ください。
投資に関する最終決定は、ご自身の判断で行うようお願いいたします。当社としては一切の責任を負いかねますのでご了承ください。